

## 窯業技術検討会 事業報告

林 茂雄\*, 新島聖治\*, 真弓 悠\*, 庄山昌志\*,  
岡本康男\*\*, 谷口弘明\*\*

### Annual Report of Meeting for the Study on Ceramic Technology

Shigeo HAYASHI, Seiji NIIJIMA, Yutaka MAYUMI, Masashi SHOYAMA,  
Yasuo OKAMOTO and Hiroaki TANIGUCHI

#### 1. はじめに

三重県では、平成 29 年度に「みえ産学官技術連携研究会」を発足し、県内企業、大学等の高等教育機関、行政機関、支援機関等と連携・協働し、県内企業の新たな取り組みを支援している。本連携研究会には 4 つの分野研究会が設置されており、窯業研究室は、陶磁器の鉦工業製品に関する地域資源研究会を担当した。

窯業研究室は地域資源研究会に属する窯業技術検討会を運営し、県内窯業関連企業の課題発掘、陶磁器・セラミックスに関連した研究、技術情報の提供と共同研究に取り組んだ。令和 5 年度は、耐熱陶器用原料であるペタライトの調達困難課題に対応するために、耐熱陶器釉薬のペタライト使用量低減に関する研究の実施、および窯業研究室が実施した耐熱陶器に関する取組紹介を四日市市（四日市萬古焼）と伊賀市（伊賀焼）で行い、情報共有を図った。

#### 2. 窯業技術検討会の開催

表 1 に、令和 5 年度に実施した検討会の概要を示す。第 8 回と第 9 回窯業技術検討会では、「耐熱陶器の現状と課題」として、ペタライトを使用した耐熱陶器、ペタライトを使用しない耐熱陶器素地の開発とペタライト使用量を低減させた耐熱陶器素地の開発について情報提供を行った。また、

「釉薬のペタライト使用量の低減に関する研究」として、現行の耐熱陶器用釉薬のペタライト使用量の低減化技術について、無貫入の光沢釉薬の開発状況と無貫入のセミマット釉薬の開発状況について情報提供を行った。第 10 回窯業技術検討会では、ブランド戦略の理論と実例に関する基調講演を開催した。

#### 3. まとめ

今後も本検討会の開催を通して、県内地域産業と関連企業等の課題やニーズの発掘、情報提供、企業との共同研究や支援の取組を進めていく予定である。

---

\* 窯業研究室

\*\* 窯業研究室伊賀分室

表 1 令和 5 年度に開催した窯業技術検討会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
第 8 回窯業技術検討会	令和 5 年 11 月 16 日	窯業研究室	<p><b>【取組紹介】</b>                      「耐熱陶器の現状と課題」主査研究員 新島聖治                      「釉薬のペタライト使用量の低減に関する研究 1」主任研究員 真弓 悠                      「釉薬のペタライト使用量の低減に関する研究 2」主幹研究員兼伊賀分室長 岡本康男</p> <p><b>【意見交換】</b></p>	19 名
第 9 回窯業技術検討会	令和 5 年 12 月 12 日	伊賀焼伝統産業会館	<p><b>【取組紹介】</b>                      「耐熱陶器の現状と課題」主査研究員 新島聖治                      「釉薬のペタライト使用量の低減に関する研究 1」主任研究員 真弓 悠                      「釉薬のペタライト使用量の低減に関する研究 2」主幹研究員兼伊賀分室長 岡本康男</p> <p><b>【意見交換】</b></p>	7 名
第 10 回窯業技術検討会	令和 6 年 3 月 21 日	ばんこの里会館	<p><b>【講演】</b>                      「ブランド戦略の理論と事例～競争優位獲得へのヒント～」                      講師：国立大学法人三重大学 人文学部法律経済学科 教授 熊谷 健 氏</p> <p><b>【意見交換】</b>                      ※窯業研究室研究発表会と併催</p>	24 名